

コロナ禍においても 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

主体的な学び への工夫

工夫：解決する意識を高める導入
での問題提示と思考を促す発問

算数

小学校4学年 複合図形の面積を求める場面です。
T先生の導入を見てみましょう。

端的な 復習



先生は何かをもっています。
この広さは何でしたか？

1 cm² !



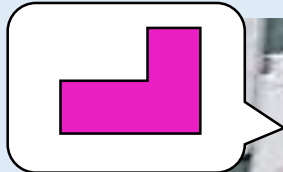
長方形や正方形の面積を求める
公式を覚えていますか？

縦×横です。



1辺×1辺です。

驚きのある 問題提示



問題です。
ジャジャーン！

※紙で問題を隠しておき、
少しずつ見せながら紙をめくる。

え~~~~！！



長ぐつだ！
ひっくり返った長ぐつ！



困り感の 共有



困ることはありますか？

正方形でも
長方形でもないよ



今までと違うところは？

縦と横がたくさん
あるね

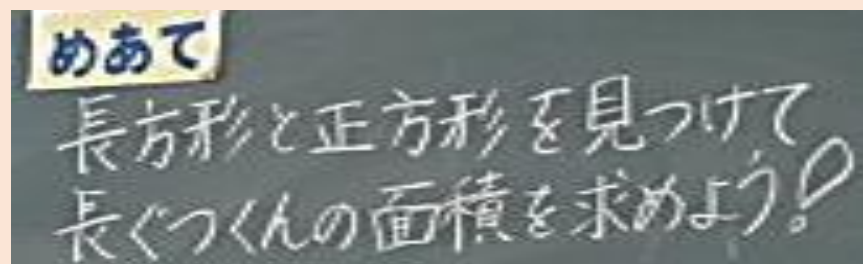


子どもと共に めあてを設定



どんなめあてがいいですか？

正方形や長方形に
分けて・・・



正方形や長方形が
いっぱい隠れてそう



増やす方法もあると思う



問題提示では、子どもたちは「どんな図形かな」と疑問をもったり、「こんな図形かな」と考えたりしながら問題を見ていたから、「え〜！」という声をあげたんだね。困り感の共有では、子どもたちが解決したいという**必要感**を高めることや、最初と最後の自分の**変容**を自覚することにもつながるね。この学習場面以外でも参考になりそう！

コロナ禍においても 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

対話的な学び への工夫

工夫：Web会議システムでつながる
「小学校同士の遠隔協働学習」

小学校外国語

小6 外国語「一番の思い出」（全4時間）

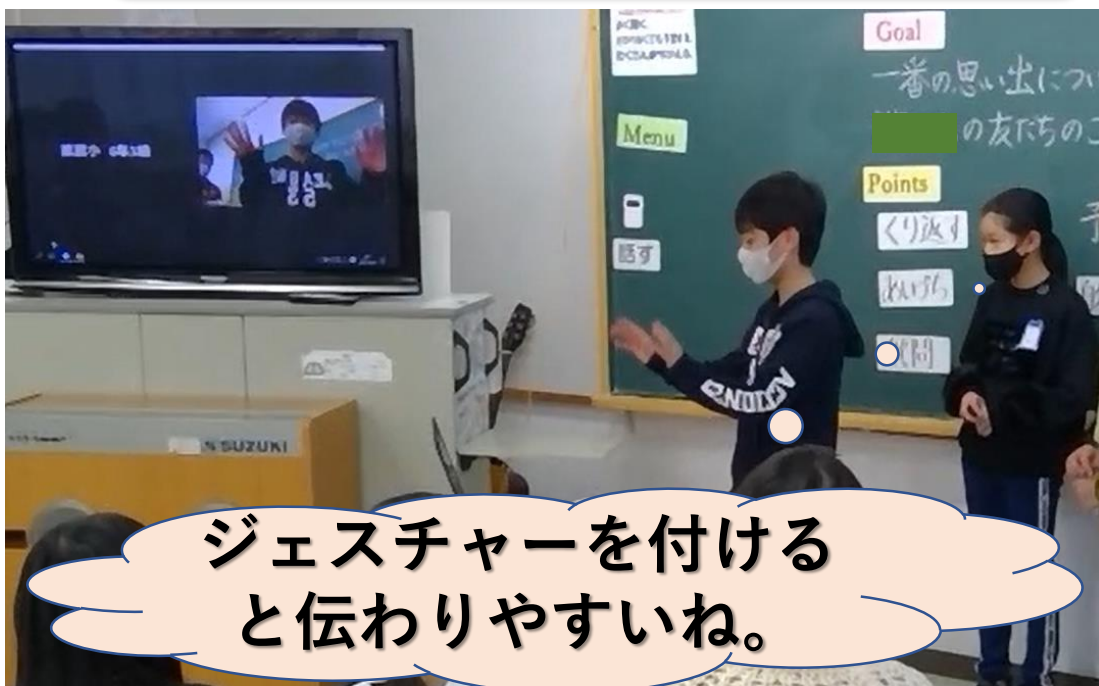
【本時のねらい（要約）】

内容を確認したり，情報を加えたりしながらやり取りをすることを通して，他校の友達のことを知ることができる。

学習問題 やり取りを工夫しながら一番の思い出を他校の友達に伝えよう

導入

ねらいと**やり取りの工夫**
をモニターで確認しよう



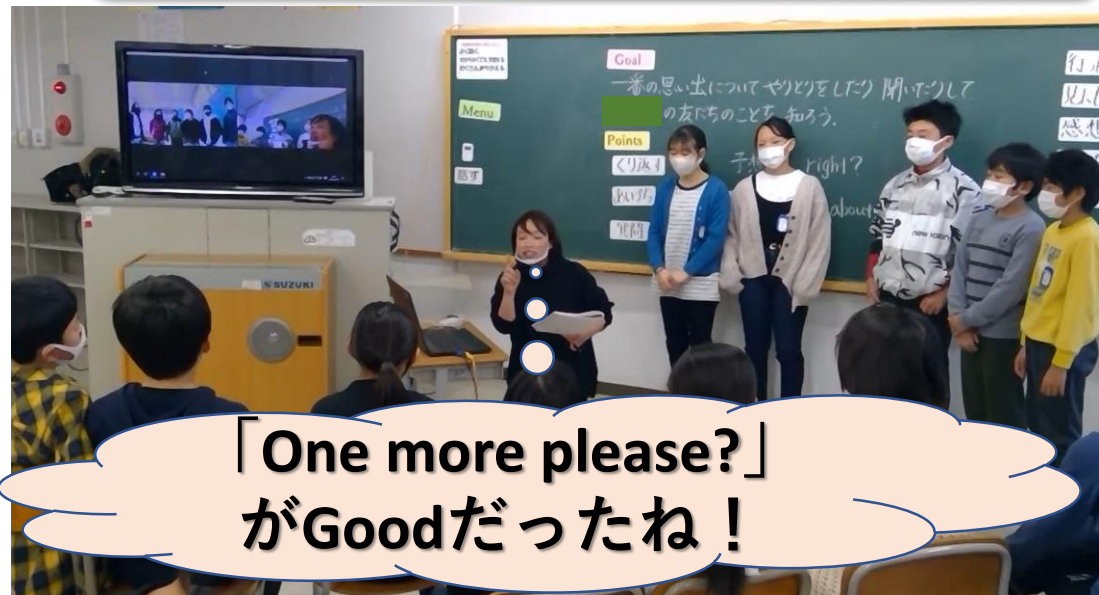
展開1

一番の思い出を
実際に**伝え合おう**



展開2

中間評価で上手くいったことや困ったことを相談しよう



展開3

中間評価を生かして**再度**伝え合いをしてみよう



導入のやり取りの工夫を確認する場で，ねらいと伝え合いの見通しがもてたんだね。その後，実際に伝え合う中で，上手く伝わったことや伝わりづらかったことが分かってきたよ。だから，中間評価で改善点を考えることにしたんだよ。友達が「One more please?」と確認しながら聞いていたことが役立っていたので，みんなも使ってみることにしたんだね。友達同士の学び合いが，対話的な学びにつながりみんなの自信となったんだね。



信州型UD推進校 片丘小学校の取組 を紹介します

片丘小学校では、学期ごと日々の授業改善で重点とする着眼点を設定して取り組んでいます。
2学期は着眼点を「**温かく受容的な学級**」に設定し、取組を進めました。

「温かく受容的な学級」の着眼点についてのUD研修を実施する



UDリーダー
ほりうち のりこ
堀内 紀子先生



「教師が一人一人の特性を把握し、その特性を生かした授業づくり＝一人一人をよく見て、いいところを見つける」ということが大変心に響いた。明日から**子どもの言葉や考え**を位置付けていきたい。



子どもたちみんなに活動の場がある授業や、**見通しがもてる活動方法**の工夫を考えたい。友だちとのかかわりを大切に活動をやってみよう。

(研修の際に先生方がUDカードに記入した「試みたいこと」より)

「試みたいこと」や取組の具体を**研究通信「自ら学ぶ子」**に掲載し、全校の先生方に紹介しています。

UDリーダーが参観した授業の様子や指導・支援のよさを**研究通信**に掲載する

子どもたちの考えから行事をつくる (学級活動)

収穫祭の準備の場面で、必要な係は何かを子どもたち自身が考え、短冊型の模造紙に**子どもの言葉**を生かして係名を書き込んでいった。
(「自ら学ぶ子」11月5日号より)



見通しをもちやすくする配慮 (理科)

校外での観察で、班ごとに観察するポイントと順番を映像で確認した。各自が**役割を果たすための見通し**をもつための配慮が有効であった。
(「自ら学ぶ子」11月5日号より)



子どもの視点に立った授業づくりへの考察を**研究通信**に連載する

追究の見通しが十分にもてないと「分からない」という言葉で教師に思いを発信するAさん。こんなとき、どうしたらいいのでしょうか。

Rくんのこの力は、Rくんにはもっていないもので、担任として予測ができないことばかりなので、「(こ)ういうときは、そうするか」と私としては「面白い」のですが、用意していた授業の流れがどこかにいってしまっても多々あるのですが、私自身、Rくんのかに助けられていることは確かだと思っています。そして、Rくんは周りの字のことをよく「OOくんは、スゲーなあ」や「OOちゃん、天才だなあ」など素直に褒めます。周りの子どもたちもRくんの「面白いところ」も「面白いところ」も分かっていて、彼と関わると子どもたちなりに判断して付き合っている、大事な人として認めてくれているように思います。

そんなRくんは、授業中どんな教科であっても「分からない」という言葉を衝動的に発することが何度もあります。1年4ヶ月一緒に生活している中で私自身が分かってきたことは、Rくんは「分からない」の言葉を多く発すると、ノートに書き書きをしたり、近くの人と話をしたり、立ち歩きのしたりし始めます。また、自分の追究している内容と学級全体の追究している内容やそのタイミングが合致しなかったときも、同様の行動を始めます。しかし、私自身、Rくんにとって「何が分からないのか」で分からないのか、十分に把握できていないと思います。そんな私の2学期の課題として、Rくんの視点に沿って、Rくんの授業内外での姿を追ってみたいと思います。そのことにより信州型UDの「温かく受容的な学級」や「理解を助ける記述」への具体的な取り組みの本質が見えてくるかもしれません。そして、その具体的な様子をこの「自ら学ぶ子」で少しずつ伝えたいと思います。



授業で出てくる文章を短く切って伝えたり、図やイラストなどを活用して視覚で伝えたりすることによって、Aさんから「分かるかもしれない」というつぶやきが！

研究通信「自ら学ぶ子」

各学級での実践や一人の子どもに焦点を当てた考察を掲載した**研究通信「自ら学ぶ子」**を軸にしながら、「**子どもの視点**」に立った授業改善の方向を全校の先生方と共有する取組を継続して進めているんだね。日々の実践を見直し、**子どもたちが安心して学べる環境づくり**を進める流れを学校の中につくり出しているよ。



信州型UD推進校 明善小学校の取組 を紹介します

目指す子ども像の具現のために
「自己肯定感を育み、高める」
「個別最適化された学びの実現」
「インクルーシブ教育の推進」

これら3つの柱を基に
「**明善小UD**」
の具現化と推進に取り
組んでいます

「明善小UD」の具現化と推進にかかわる取組 その1

「MIM」を活用した児童理解と支援

MIMを活用した継続的な児童理解，その営みからみえてきた困り感を抱く子どもへの支援を，高見澤先生を中心に行っています。

「MIM」の可能性や活用の具体について，情報交換されたい方は，ぜひ，高見澤先生にご連絡ください。

「特殊音節の読み」でつまづいている子どもは少なくありません。明善小では，子どもの困り感を把握し，子どもが楽しみながら乗り越えられるようMIMを活用しています。国語科研究部会の活動の1つに位置付け，取り組んでいます。

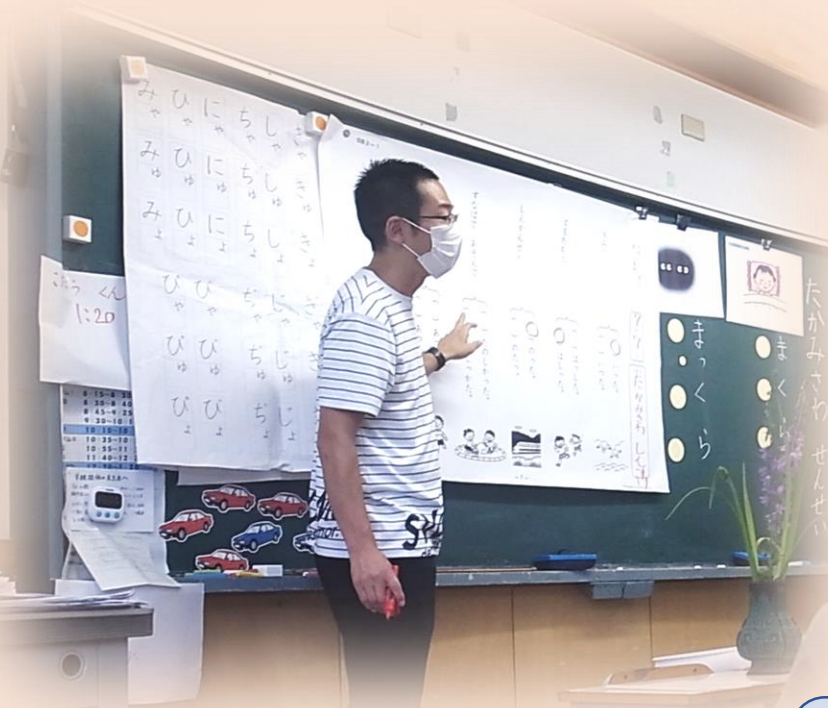
「明善小UD」の具現化と推進にかかわる取組 その2

既存の「明善小学校の考えるユニバーサルデザイン」の活用

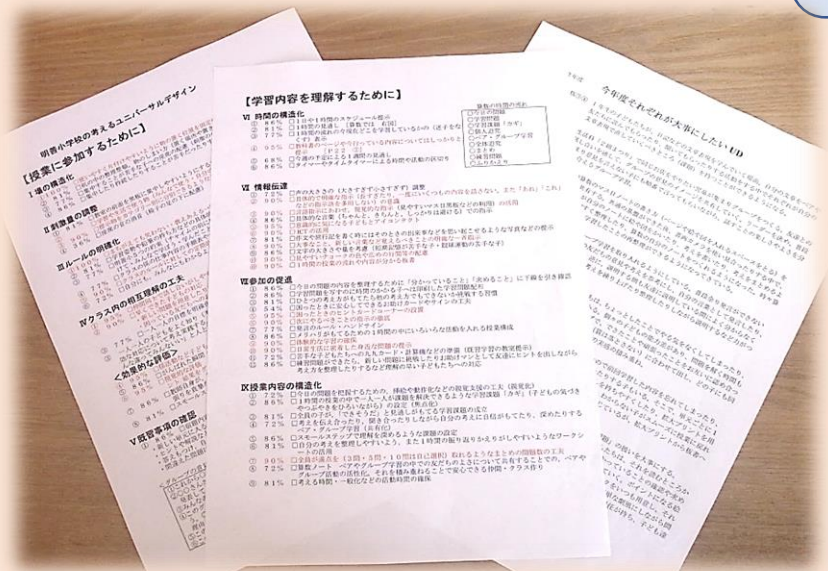
子どもが，
【授業に参加するために】UD化できることは何か
【学習内容を理解するために】UD化できることは何か
これらについて考え，**9つの大切と考える大項目**等を3年前に決めだし，全ての先生方で大切にされてきました。

本年度は大項目の一つ「**IX 授業内容の構造化**」を研究の重点とし，先生方ひとりひとりが，小項目を基に自身の実践を省みて授業改善の方策を自ら決めだし(Plan), 実践(Do)しています。そして同僚と共に互いの取組を振り返り，次の取組につなげていく(Check→Actionへ)そんな営みを継続しています。

高見澤先生は，ご自身が見いだした授業改善の方策を基に，社会科で実践し「明善小UD」の具現化を試みています。詳細は「まなびすけ信州」内「**信州型UD実践ノート**」に掲載されますので，ぜひご覧ください。



UDリーダー
たかみさわ しんすけ
高見澤 信介 先生



明善小学校の考えるユニバーサルデザイン
(左，中)
先生方が本年度取り組みたいこと一覧 (右)

IX授業内容の構造化

- ① 72% 今日の問題を把握するための，挿絵や動作化などの視覚支援の工夫 (視覚化)
- ② 86% 1時間の授業の中で一人一人が課題を解決できるような学習課題「カギ」(子どもの気づきやつぶやきをひろいながら)の設定 (焦点化)
- ③ 81% 全員の子が，「できそうだ」と見通しがもてる学習課題の成立
- ④ 72% 自分の考えを伝え合ったり，聞き合ったりしながら自分の考えに自信がもてたり，深めたりするペア・グループ学習 (共有化)
- ⑤ 86% スモールステップで理解を深めるような課題の設定
- ⑥ 81% 自分の考えを整理しやすいよう，また1時間の振り返りかえりしやすいようなワークシート
- ⑦ 90% 全員が満点(3問・5問・10問は自己選択)取れるようなまどめの問題数の工夫
- ⑧ 72% 算数ノート ペアやグループ学習の中で友だちのよさについて共有することで，ペアやグループ活動の活性化。それを積み重ねることで安心できる仲間・クラス作り
- ⑨ 81% 考える時間・一般化などの活動時間の確保

本年度重点項目 (IX) と小項目について，先生方の取組への意識の集計結果 (%)



今後の取組の中で「明善小UD」が先生方の中でさらに明確になっていくだろうね。学校の自律を感じさせられたよ。さて，皆さんの学校では，子どもの困り感を根拠をもってとらえる取組，子どもが自分らしく学べるようにするために，全ての教師が自身にできることは何かを考え，実践し，検証していく取組はどのようにされていますか？

「教育クラウド 使ってみよう」研修

教育クラウド
~1人1台端末
時代を見据えて~
使ってみよう

出前講座

学校教育
県教育委員会では、「クラウド」で「児童生徒の学習支援」を進めようとする学校と先生をサポートします！

「教育クラウド 使ってみよう」出前講座が始まっています。各校で研修をする中で、先生方が活発に意見交換されたり、クラウドアプリでの「同時編集」を楽しそうにされたりする姿から、私たちもICTを用いた学びの可能性を感じています。研修の様子をお知らせします。

研修メニュー

- 1 一人一台端末の活用の仕方を話し合おう + 情報提供
- 2 クラウドとは何か
- 3 クラウド体験（ジャムボード、ドキュメント、フォーム等を用いて）
- 4 今後の一人一台端末の活用の見通し

クラウドとは何か？



- クラウド…雲
- インターネット上（雲）にデータを保存する仕組み
- ↑
- ・パソコンのハードディスク内、学校のネットワーク上に保存
- いつでも、どこでも、どの端末からでもデータにアクセスできる

クラウドのイメージをつかむ



端末を用いてクラウド体験をする

先生方の感想から

クラウドがどういうものかわかりやすく説明していただけてありがたかった。ジャムボードやドキュメントを体験できてよかった。

アプリを実際に使って体験することで、授業でどのように使えそうかはっきりしてきた。

まずは職員間で、クラウド上で作業ができそうです。（職員間で意見を出し合う時など）

今日一日の目標と振り返りを記入する。

朝の健康観察を毎日する。

Googleチャットで学年会や悩み相談

自分の悩みを投稿できるようにする

学校評価をGoogleフォームで実施する。

時計のかわり

親にお小遣い上げをもらうためにプレゼン資料作り

おももしろかったユーチューブや写真をひとり1枚ずつ紹介していく。

進路希望調査をGoogleフォームで実施する。

出張予定をカレンダーに入力してもらって、共有する。時間になればGoogleが教えてくれる。

〇〇くんのいいところ集め！自己肯定感を高める！

アンケートに答えてもらい集計する

趣味の共有（動画、写真）

レシビの紹介

一人一台端末 授業以外での活用の仕方

家庭のレシビ共有

忘れ物用リマインダー活用

GoogleMapで散歩

生徒会で企画のアイデアをジャムボードを使って、期間を決めて募集する。

Googleカレンダーで家庭訪問の順番を決める。（昨日の研修で紹介されていました。）

Tシャツなどのデザインを共同で製作

職員会議資料もドライブに保管して、ペーパーレス化を進める

遊びの予定をカレンダーで共有

YouTubeの再生、動画作成

「ジャムボード」（付箋ツールアプリ）を使って、アイデアを出し合う



実際に先生方が一人一台端末を立ち上げて使ってみたり、クラウドアプリを体験してみたりすることで、授業やその他の活動の中で、児童生徒とどう活用していけそうか、見通しがもてたみたいだね。
まずは「使ってみる」ことが大切だね！
次ページの研修資料を校内研修に活用してね！

クラウド研修で行っている研修内容の一部を紹介します。
先生方の研修にご活用ください。

中信教育事務所

1 一人一台端末の活用の仕方を話し合おう

授業の中での活用例

児童・生徒が

- ・カメラとして、ビデオとして
- ・情報源として（インターネット）
- ・ドリル帳として（アプリの活用）
- ・「ドキュメント」で、学習カードとして（しかも同時に書いたり、共有したりできる）
- ・「フォーム」で、振り返りカードとして（数値による自己評価、記述による振り返りなど）

など

NITS「学校におけるICTを活用した授業場面」と検索 活用例を見ることができます。

2 クラウドとは何か

クラウドとは何か？



○クラウド…雲

○インターネット上（雲）にデータを保存する仕組み

↑
・パソコンのハードディスク内、学校のネットワーク上に保存

○いつでも、どこでも、どの端末からでもデータにアクセスできる

クラウドとは…

インターネット上にデータを保存する仕組み

3 クラウド体験①

The screenshot shows the Google homepage. A red box highlights the 'Google アプリアイコン' (Google app icon) in the top left corner. A yellow box with an arrow pointing to it says '(こちら側に「アプリ」と文字で出る場合もあります)'. Another red box highlights the 9-dot menu icon in the top right corner. A yellow box with an arrow pointing to it says 'ここをクリック (いろんなクラウド上で使えるアプリが入っている)'.

Googleのクラウドを例に体験

- ①Googleの検索画面を開く
- ②右上の9つの●（メニュー）をクリック

3 クラウド体験②

The screenshot shows the Google app menu. A yellow box lists: ①ドキュメント, ②スプレッドシート, ③ドライブ, ④ジャムボード, ⑤クラスルーム など を見つけてみてください. Another yellow box says '※アカウントがないと開けません'. A third yellow box says 'さらに下の方にスクロールすると、その他のアプリもあります'. Red boxes highlight the 'ドキュメント', 'スプレッドシート', 'ジャムボード', and 'クラスルーム' icons.

たくさんのアプリが出てきます。開いて試してみてください。（メールアドレスが必要です。市町村教委と連絡を取り合いながら取得）

3 クラウド体験③

The screenshot shows the Google Jamboard app interface. A red box highlights the '付箋' (sticky note) icon in the left sidebar. A yellow box with an arrow pointing to it says 'ここをクリック 付箋が出てきます'. The main area shows a grid with a sticky note that says '生活記録の明日の予定 帰りの会を打ち込み、家でタブレットを置いて確認する'. A green box at the bottom right says 'Jamboard (ジャムボード)'.

アプリの1つジャムボード。付箋を用いた意見交換が、画面上でできます。

4 今後の一人一台端末の活用の見通し

これからのICT関係の見通し

- | | |
|----|--|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末の配布 ○ネットワークの整備（10月～年度内） ←児童生徒とのルール作り、管理の仕方、アカウントやパスワードについて、故障したら、保護者との情報共有など ※市町村教委との連携で |
| 利用 | <ul style="list-style-type: none"> ○授業・学校生活の中で児童・生徒と活用していく（学校で） ・授業で、学活で、児童会・生徒会でなど ○家庭にいる児童・生徒と活用していく（家庭で） ・家庭学習で、休日に |
| 活用 | <ul style="list-style-type: none"> ○さらなる活用の仕方を探る ・保護者と、先生方同士で、教育委員会と 等々 |

今は「導入」の段階。見通しをもちながら、どんどん使っていきましょう！